

イオニアミスト PRO よくあるご質問

① イオニアミスト PRO とは一体どんなものですか？

→光触媒とは、酸化チタンという粒子が光に当たると働き始める触媒のことです。植物の光合成と似ています。

光触媒は、「日本から世界へ発する 21 世紀最後の技術」と言われており、52 年前に発見した藤嶋教授は、毎年のようにノーベル賞化学賞候補として名前が挙げられています。

イオニアミスト PRO を施工することにより、「防臭・防汚・防菌」の効果があります。

② 今までの光触媒と何が違うのですか？

→光触媒の技術は大変優れているのですが、今までの光触媒は、理論通りの性能を発揮出来ませんでした。理由として、以下があります。

① 自力で施工面に結合できないためバインダー(接着剤)が必要→接着剤が入ってるため、どこにでも施工は出来ない。

② (その結果) 効果を発揮する粒子は一部 (バインダーに埋もれた酸化チタン粒子は効果を発揮できない)

③ 反応に強い光が必要 → 「紫外線」で反応する

イオニアミスト PRO は、光触媒の性能を最大限引き出し、理論通りの性能を発揮することが出来ます。理由として以下があります。

① 自力で施工面に結合できるのでバインダー(接着剤)が不要 → 超ナノ化に成功。世界最小「2 ナノサイズ」が自己結着

② (その結果) 全ての粒子が効果を発揮 → 原料は「水,アルコール,チタン粒子」のみ

③ わずかな光でも効果を発揮 → 「可視光線」でも反応

バインダー(接着剤)がないので、酸化チタンの粒子はむき出しで表面積が大きくなる。

分子間力で自己結合する。

また、既存の光触媒は、平米単価 (1m×1m) 3,000 円~5,000 円のところ、

平米単価 (1m×1m) 1,000 円で施工可能です。

例) 部屋 (天井 / 壁 / 床) + 家具類やキッチンなど設備類

※注 施工時には内部クリーニングをお勧めします。(ほこり等があるとほこり等清掃

時にイオニアミストプロの成分も清掃されてしまいます) また水分が残らないよう乾燥

する必要があります。

③ どんな物に施工可能なのですか？

→施工ができない素材は特になく、一般的な壁材や床材・布類・金属や電化製品・ガラス・ABS・アクリル・ポリカーボネイトなど、どのような素材についても原則結着するとお考えください。

ただし、濡れている状態で施工をすることは出来ませんので、水回りなどへの施工の際は、完全に乾かした状態で行います。

④ 有機溶剤ですか、水性ですか？

→水性です。成分は工業用アルコール、水、酸化チタンのみです。

⑤ 人体に影響はありますか？

→ありません。酸化チタンはFDAやEU圏でも食品添加物として認可されている安全性の高い物質でたとえば歯磨き・日焼け止め・内服薬の抗菌処理などに使われることの多い、世界中で50年以上の使用実績がある成分です。

常温常圧で酸素に触れても安定しており、自身は長期にわたって変化することなく同じ状態を維持することができます。

大量に経口摂取した場合のリスクなどを心配される方もおられるようですが、イオニア

ミストPROはそもそも口に入れる目的で

使用するものではございませんので、経口摂取の例には当てはまりません。ご安心くださいませ。

⑥ 施工後どのぐらいの時間で使用可能ですか？

→完全に乾き定着するまでの時間、おおよそ 30 分後から見て頂ければ大丈夫です。

⑦ 施工後の何年程度でメンテナンスが必要ですか？

→過去事例では、4 年～5 年経過しても効果が持続しているケースはメーカーで確認しております。通常の清掃で自己結着が剥がれる可能性は低いですが、研磨や洗濯をすると剥がれ易くなります。

一般的に 3 年ごとにメンテナンス施工する場合があります。

⑧ 抗菌作用として、**コロナウイルス**に対しては有効ですか？

→新型コロナウイルス対策に特化して製造・販売されている商品ではございませんので 同ウイルスを検体としたエビデンス試験は実施しておりません。エビデンスが取得できているのは、A 型インフルエンザおよび、ネコカリシウイルス（ノロウイルスの代替）でこれら両方について、99.9%の不活化が確認できています。ウイルスという生物の構造を考えた場合、エンベロープウイルス・ノンエンベロープウイルスの両構造について、有効に作用することが確認できておりますが、当該ウイルスの検体で試験をしてはじめて、有効性が主張できるということをご理解ください。

⑨ メリット、デメリットを教えてください。

→メリットは、コストパフォーマンスが非常に高いです。

デメリットは、面に施工する為、接触感染は予防出来ますが、飛沫感染、空気感染は予防出来ません。